

札幌社保協 FAXニュース

2011年 2月 5日(土)
社保協事務局 発行
TEL823-0867 Fax821-3701
E-mail:s-syaho@kin-ikyo.or.jp
http://www.sapporo-syahokyo.jp/

国保・介護・後期
高齢者110番は
2月24日(木)です

保育ー現行制度の堅持・拡充 待機児童・超過入所の解消を!

ー札幌保育連が副市長に要請ー



副市長に要請をする、札幌保育連のみなさん

札幌保育連絡会は1/27に生島副市長と会い、①国が進める新システムではなく現行制度の堅持・拡充を、②中・長期的な待機児童対策の前倒し、③超過入所を早急に解消する、④国庫負担増額を国に求め、保育料の減額の努力を、の4項目を要請しました。要請には保育士・保護者や役員など9人が参加。

副市長は「新システムの全てを良しとはしないが、子どもを社会全体で育てるものとする。来年度1300人分の保育所を増やし、待機児童を少なくしたい」等と回答しました。

参加した札幌保育労組の岡書記長は「上田市長は東区の保育関係者の新年会にあいさつに行っているのに、私達の要請に会わないのは残念だ。市は新システムについては大枠では賛成しており問題だと思う。子どもを社会全体でと言うが、「介護の社会化」と言って問題の多い介護保険を導入したやり方に通じるものを感じる」と述べています。

高すぎる国保料を引き下げて!

～道生連が請願提出

道生活と健康を守る会連合会と札幌の各単祖は、この間「高すぎる国保料を引き下げてください」請願署名に取り組みできました。

2/2、道生連と札幌各区の単祖の代表8人が市議会の各会派に要請し、議会事務局に836人分の署名と請願書を提出しました。

会派への紹介議員要請では、日本共産党市議団5人が紹介議員となり、他の会派は不在などのため後日の回答となりました。

道生連では引き続き署名を集め、2月10日に第2次の提出を行うことにしています。



市議会各会派要請 (写真は共産党市議団)

医療・介護の改悪を知らせようー南区で学習会

南区社保協と勤医協みなみ社員支部は1/25、斉藤札幌社保協事務局長を講師に「新高齢者医療制度と国保の都道府県化」(プラス介護保険の改悪)について学習会を開き、10人が参加しました。

議論の中では「学習するとわかるが、人に知らせるのは大変」「財源の話で消費税増税が必要ではないかと言う人も多い」等の声も出されました。「税と社会保障の一体改革」が社会保障の改悪と消費税増税に他ならないことを、学習をしながら多くの人に知らせたいと、強調されました。



高齢者のいのちと尊厳を守ろう! 2.20怒りの高齢者パレード

2月20日(日) 11:00~12:00 学習会 かでの2・7 520研修室 主催:
12:30~13:00 パレード かでの前~大通西4丁目 北海道高齢期運動連絡会